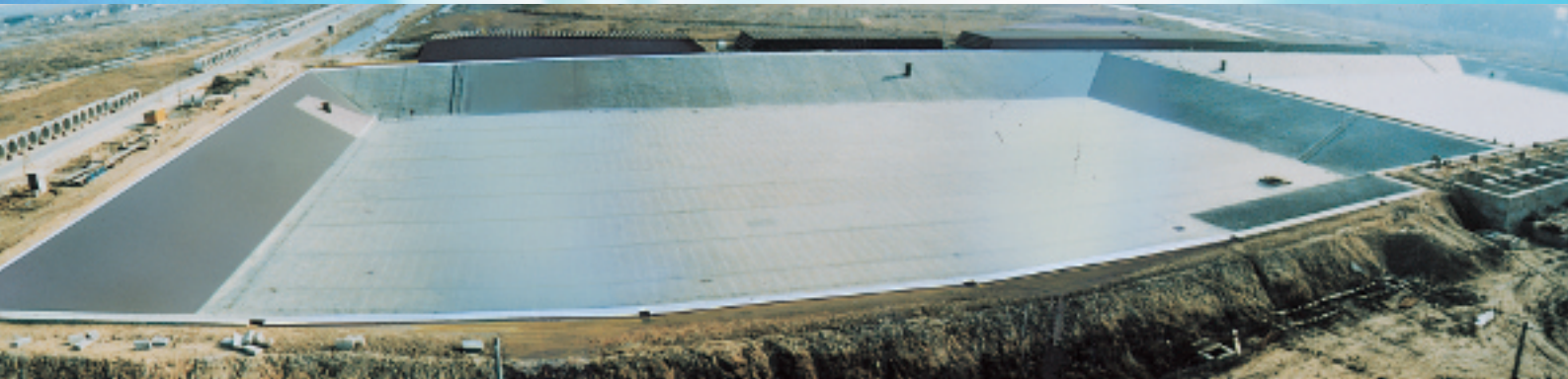




三ツ星ベルト株式会社の  
ポリエステル繊維積層の加硫ゴム系遮水材

# ミズシート®S



人を想い、  
地球を想う。



三ツ星ベルト株式会社



ミズシートSは30年以上の施工実績で耐候性に定評のあるミズシートを、耐熱・耐水性にすぐれたポリエステル繊維で強化した補強複合シートです。耐衝撃性・耐引裂性を大幅に改善し、JIS A 6008合成高分子系ルーフィングシート補強複合タイプの規格をクリアしました。ミズシートSはシート遮水材の信頼性をさらに向上させます。



## 特 長

### 1.耐衝撃性にすぐれています。

無補強シートの約2倍の耐衝撃性があります。

	ミズシートS	無補強シート
衝撃強さ	10cm	6cm

落下式衝撃試験 刃先：0.5mmR おもり：8.3kg

### 2.耐引裂性にすぐれています。

無補強シートの約2倍の耐引裂性があります。

	ミズシートS	無補強シート
長手方向	100N	50N
幅方向	110N	50N

JIS L 1096 シングルタング法 引張速度：500mm/min

試験片：50mm幅トラウザ形

### 3.温度変化による寸法安定性にすぐれています。

熱による収縮も少なく安定した性状を確保します。

また、ミズシートSの基布(ポリエステル繊維)は、20%の伸縮性があります。

ミズシートSは万一下地の動きにも追従します。

	ミズシートS	無補強シート
熱膨張係数	$0.2 \times 10^{-4}$	$0.8 \times 10^{-4}$

### 【参考】高密度ポリエチレン(HDPE)： $2.8 \times 10^{-4}$

10mの長さで20℃の温度差があった場合の伸縮量

■ミズシートS ……………10000mm×20× $0.2 \times 10^{-4}$ =4mm

■無補強シート……………10000mm×20× $0.8 \times 10^{-4}$ =16mm

■HDPEシート……………10000mm×20× $2.8 \times 10^{-4}$ =56mm

シート表面温度が外気温より20℃以上高くなるような使用環境では熱膨張係数が小さいという事は非常に重要な特性です。高密度ポリエチレンのような樹脂シートは熱膨張係数が大きいので、シートに大きな応力がかかり、固定端がはずれたりする事故が発生しています。ミズシートSは初期応力が高いシートですが、熱膨張係数が非常に小さいのでシートの伸縮がほとんどなく、樹脂シートのような問題が発生することはありません。

# ミズシート<sup>®</sup>Sとは…

ポリエステル繊維を積層した耐衝撃性、引裂抵抗性にすぐれた加硫ゴム系遮水材です。

## 基本物性

項目	項目		JIS A 6008規格値 (補強複合タイプ)	試験結果	
				長手方向	幅方向
引張性能 ※1	引張強さ N/cm		240以上	341	314
	伸び率 %		15以上	18	28
引裂性能 ※2	引裂強さ N		50以上	85	93
温度依存性	試験温度 60℃	引張強さN/cm	100以上	322	282
	試験温度 -20℃	伸び率%	7.5以上	17	28
加熱伸縮性状	伸縮量 mm		伸び 2以下 縮み 4以下	縮み 0.0	縮み 0.0

試験結果は保証値ではありません。※1：試験片100mm×150mm ※2：試験片：切り込みなしアングル形

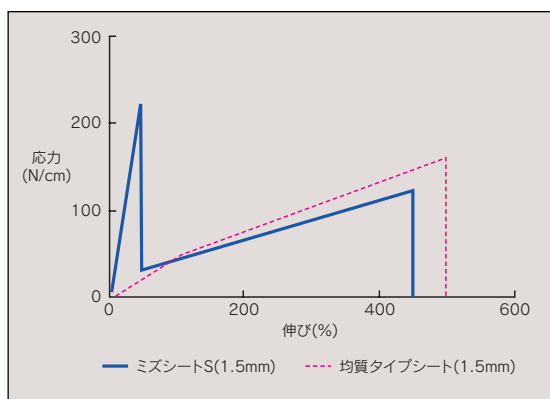
## 物性比較

注意) 上記の表と下図のミズシートSの試験結果の数値については、基本物性の測定時の試料形状及び試験方法が異なるため一致しません。

ミズシートSと無補強シートを同じ試験方法で比較した結果です。

項目	項目		測定方法	ミズシートS	無補強シート
引張性能	引張強さ N/cm	基布の切断時	JIS K 6251 ダンベル状1号形	225	—
		シートの切断時		125	147
	伸び率(%)	基布の切断時	JIS K 6251 ダンベル状1号形	30	—
		シートの切断時		450	500
引裂性能	引裂強さN		JIS K 6252 切り込みなしアングル形	93	51

試験結果は保証値ではありません。



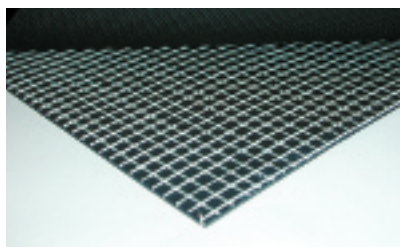
### 構成寸法

厚さ(mm)	幅(m)	長さ(m)
1.5	1.2	15.0
	8.0	15.2
2.0	1.2	10.0
	8.0	10.5

- 厚さの許容差は-10%~+15%です。
- 標準品は厚さ1.5mmです。
- 最大寸法は1.5mm厚の場合10m幅×150m長です。

ミズシートSは左図のように低伸張時は基布による初期の耐引裂性を有し、仮に基布が切断しても加硫ゴム特有の高い伸張特性を発揮して、遮水性能を損なうことはありません。

### 芯体写真



### 工場ジョイント





# 三ツ星ベルト株式会社 建設資材事業部

土 木 課 〒653-0024 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号  
TEL.(078)685-5794 FAX.(078)685-5789  
〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号  
TEL.(03)5202-2506代表 FAX.(03)5202-2526  
〒816-0088 福岡市博多区板付1丁目3番1号  
TEL.(092)411-4453代表 FAX.(092)451-7186

神 戸 本 社 〒653-0024 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号  
TEL.(078)685-5771 FAX.(078)685-5681  
www.mitsuboshi.co.jp

東 部 建 築 課 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号  
TEL.(03)5202-2506 FAX.(03)5202-2526

西 部 建 築 課 〒653-0024 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号  
TEL.(078)685-5791 FAX.(078)685-5789

名古屋営業所 〒485-0077 小牧市大字西之島1818番地 (三ツ星ベルト株式会社 名古屋工場内)  
TEL.(0568)41-7600 FAX.(0568)41-7601

札幌営業所 〒062-0902 札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号  
TEL.(011)841-9131 FAX.(011)812-9370

福岡営業所 〒816-0088 福岡市博多区板付1丁目3番1号  
TEL.(092)441-4453 FAX.(092)451-7186

広島事務所 〒738-0004 広島県廿日市市桜尾2丁目2番39号  
TEL.(0829)32-9292 FAX.(0829)32-9294

四国事務所 〒769-2401 香川県さぬき市津田町津田2893番地  
TEL.(0879)42-3189 FAX.(0879)42-2295

## 製品を安全にお使いいただくために

施工に関しては標準施工仕様書を必ずお読みください。

### 1. ミズシートSについて

- ▲ 警告 このカタログに記載されている以外の仕様では使用しないでください。また、飲料水、食品と直接触れるような使用はしないでください。
- ▲ 注意 保管する場合は、倒れたり、転がらないよう適切な治具やストッパーを用いてください。

### 2. ネオ・ボンド#110J、ネオ・ジョイントプライマーについて

- ▲ 警告 有機溶剤を含みますので、保管および取扱い場所およびその周辺は、作業中、乾燥中ともに火気厳禁です。また、吸入したり皮膚に触れると中毒や皮膚障害を起こす恐れがあります。取扱いには下記の注意事項を守ってください。吸入したり皮膚に触れて異常を感じた場合は直ちに医師の診断を受けてください。
  1. 取扱中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスクまたは、送気マスクを付け、さらに、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、襟巻タオル、保護手袋を着用してください。
  2. 取扱い場所には局所排気装置を設けてください。
  3. 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。
  4. 取扱い後は洗顔、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
  5. 作業衣などに付着した場合は、その汚れをよく落としてください。
- ▲ 警告 有機溶剤を含む廃材を、河川、湖沼、海などへ廃棄しないでください。また、中身を残したままの廃棄や火中への投棄はしないでください。
- ▲ 注意 直射日光を避け40℃以下の乾燥した換気の良い場所、および部外者や子供の出入りできない場所に密閉して保管してください。
- ▲ 注意 引火した時は粉末、炭酸ガス、泡消火器または水を噴霧して消化してください。棒状の水を直射すると飛散して危険です。
- ▲ 注意 指定した以外の材料と混合しないでください。

### 3. 施工について

- ▲ 警告 傾斜地では滑落の危険があります。足場を確保したうえで、安全帯などを着用してください。

## 施工中、および施工後の維持管理上のお願い！

1. 遮水層を傷つけたり遮水機能を損なわないために、以下の事項を守ってください。

- シートの運搬時に、フォークリフトの爪、フック掛けなどで損傷を与えないでください。
- 下地の突起や鋭角物に接しないようにしてください。特に重機による接触は避けてください。
- 養生中は、シートが風で浮き上がらないよう対策してください。
- たき火、花火、喫煙などの火気の使用は厳禁です。
- 油、有機溶剤、薬品などを付着させないでください。
- 遮水材のうえを歩行する場合は、靴底の柔らかい履き物を使用してください。
- 作業する場合は刃物で傷をつけたり、尖った物、重量のある物で衝撃を与えないでください。

2. 事故防止のために、関係者以外の立ち入りを禁止する表示、

および施工現場内に入れないように保護柵などの安全対策を講じてください。

- ①お断りなく、記載内容を変更する場合があります。
- ②最新のカatalogかどうか、お確かめください。
- ③ご不明の点がありましたら、上記の弊社、営業所までお問合せください。